

2015年邦人犯罪被害事件一覧表

	発生月日	内容	場所	被害者	概 要
1	1月3日	窃盗 (侵入盗)	モコパネ (リンボポ州)	在留邦人 (青年海外 協力隊)	自宅で仮眠をとり、18時頃目覚めて外出しようと玄関に行くと、閉めたはずの扉が半開きの状態であった。扉の鍵は壊されていなかったが、元々同鍵が緩んでいた。玄関の先にあるリビングを確認したところ、パソコン1台、電機シェーバー1台、鍵4つ(玄関扉、バーグラバー、エントランス、スーツケース)が盗まれていた。
2	1月3日	窃盗 (侵入盗)	ダーバン	出張者	ホテル(Three cirty's Royal Palm) 室内に保管中のポストンバック内(施錠機能なし)から、電子辞書を窃取されたものの。ホテルチェックイン後、3日後に盗難被害に遭ったことを認知するまでの間(2日間)、ルームサービスを利用した。
3	1月11日	強盗 (路上強盗)	ポロクワネ (リンボポ州)	在留邦人 (青年海外 協力隊)	リンボポモール側の店の建ち並ぶ人通りの多い歩行者道にて歩行中、前方からナイフを持った若い男に呼び止められ、同時に後方から来た数人の男によって背後から取り押さえられた。その間、ポケットやバッグの中をあさられ、パソコン1台、音楽プレーヤー1台、電機シェーバー1台、現金約1000ランドを盗み、逃走した。
4	1月20日	窃盗 (車上ねらい)	モーニングサイド (ヨハネスブルグ)	出張者	19時頃、モーニングサイドショッピングセンターの地下駐車場に到着し、車内にバッグを置いてレストランに出かけた。21時頃、車に戻ると後部左側の窓が割られており、パスポート、パソコン、ノート、iPhoneケーブル、免許証、定期券等が入ったバッグが盗まれた。
5	1月23日	窃盗	ピーターマリツバーグ (ダーバン)	在留邦人	スコッツビルショッピングモール内所在のスーパー「チェッカーズ」で買い物中、カートの中に入れておいたカバンを窃取されたもの。パスポート、銀行各種カード等貴重品が在中していた。商品を選択するために目を離したほんの一瞬の隙をねらった犯行であった。
6	1月24日	窃盗 (スリ)	ポロクワネ (リンボポ州)	在留邦人 (青年海外 協力隊)	タクシーにてポロクワネタクシーランクで降り、同ランク内でモコパネ行きのタクシーを探し歩いていたところ、黒人男性後ろから突然ぶつかってきた。被害者が後ろを振り向いたところ、黒人男性はsorry, sorryと言いながら、被害者のベルトをつかんできた。その手を離そうと被害者は自分の手で振り払った。黒人男性はそのまま素早く立ち去り、人的被害はなかったが、直後にズボンのポケットを調べると、ipod 1台が盗まれていた。
7	2月9日	窃盗 (車上ねらい)	パークビュー (ヨハネスブルグ)	旅行者	公園にてサッカーをしている間、車の中にバッグ及びパソコンを置いていき、戻ってきたら車の窓が割られていて、バッグ及びパソコンを盗られていた。バッグの中にはパスポート、カメラレンズ、財布、お金、クレジットカード2枚、パソコン用品が入っていた。
8	2月13日	強盗 (路上強盗未遂)	モデルフォンテイン (サントン)	在留邦人	サントン東部地区の交差点(Cnr N3 & Malboro Dr)にて、午後7時頃、信号待ちのため停車中のところ、前車ドライバーに対してけん銃を突き付けている強盗団を視認。その直後、自車の後部ドアが共犯者のうちの一人に開けられそうになったためその場から急遽離脱したものの。
9	2月22日	強盗 (路上強盗)	パークステーション (ヨハネスブルグ)	旅行者 (バックパッカー)	ボツワナからバスでヨハネスに到着し、タクシーを探して歩いていたところ、突然後ろから5～6人の集団に突き飛ばされ、横転し、所持していたリュックサックやポーチを盗まれた。盗まれたものの中にパスポート、クレジットカード、キャッシュカード、学生証、スマートフォン、タブレット、現金、日用品が入っていた。横転した後、賊の一人に首を押さえつけられたため、首を痛めたが、それは打撲程度でその他の被害はなかった。
10	3月17日	窃盗 (車上ねらい)	モーニングサイド (サントン)	在留邦人	Rivonia通り沿いの和食レストラン(Misaki)において食事中、同所パーキングに駐車した車両内(トランク)から、パスポート入りのカバンを窃取されたもの。車両窓ガラスが破壊された形跡はなかった。
11	3月24日	窃盗 (車上ねらい)	モーニングサイド (サントン)	在留邦人	Rivonia通り沿いの和食レストラン(Misaki)において食事中、同所パーキングに駐車した車両内(トランク)から、パスポート・PC・PCバッグ・PC関連機・カメラ2台を窃取されたもの。車両窓ガラスが破壊された形跡はなかった。
12	3月29日	強盗 (路上強盗)	パークステーション (ヨハネスブルグ)	旅行者 (バックパッカー)	パークステーション外側のミニバス乗場へ向かう途中5～6人の男に囲まれて前に抱えていたリュック(現金5万円、300ユーロ、450ドル、3000ランド、クレジットカード、パスポート、タブレットPC等が在中)を奪われた。また、首にさげていたカメラも引きちぎられて持って行かれた。被疑者は被害者が倒れているスキに逃走した。
13	4月21日	窃盗 (車上ねらい)	モーニングサイド (サントン)	在留邦人	午後7時30分から同8時30分ごろまでの間、リヴオニア通り沿いのショッピングセンター内に食事のため立ち寄ったところ、同敷地内に駐車していた自家用車両の運転席側後部座席の窓ガラスが破られ、Ipad、書類等在中のビジネスバックが窃取されていたもの。

14	4月23日	窃盗 (車上ねらい)	サントン	在留邦人	食事のためBenmore Garden Shopping Center内に自家用車を駐車したところ、窓ガラス（後部助手席側）が破壊され、車内からパスポート、運転免許証等在中のカバンが窃取されたもの。同敷地は、警戒係員が配置されている駐車場である。
15	5月2日	窃盗 (スリ)	ファラボルワ (リンボボ州)	在留邦人 (JICAボランティア)	ファラボルワ市中心にあるショッピングモールから北へ200メートル程の場所に徒歩で帰宅途中、突然黒人青年が話しかけてきて、「こんな時は柔道はどうやるんだ」とふざけたように膝蹴りの真似をしてきて、「止めろ、向こうへ行け」と言うと離れたが、2～3分後、ジバンのポケットを確認すると携帯電話（i P h o n e）がなくなっていた。
16	5月3日	強盗 (路上強盗)	ボロクワネ (リンボボ州)	在留邦人 (青年海外協力隊)	バス停からタクシーランクへ走行中20代前半とみられる男性に止められ（Church StとRissik Stの交差点）、同時に他の2名にも囲まれ、正面の男性にナイフを見せられた。左右の男性がズボンのポケットをチェックし現金のみを取り、入っていた携帯電話は返してきた。現金を要求してきたので背負っていたバッグは降ろさず、ポケットに裸に入れておいた現金の場所のみを伝えた。
17	5月8日	強盗 (路上強盗)	マセル (レソト)	旅行者	マセル中心部にて、レストランで知り合った白人の車にて、バーの前に止めて、下車してバーの方へ歩いて行く直後にナイフを持った3人の若者に襲われ、持ち物（パスポート、クレジットカード、現金、デジカメ等）全てを奪われた。
18	5月14日	強盗 (路上強盗)	ブルックリン (プレトリア)	在留邦人 (JICAボランティア)	プレトリア大学近くの中華料理屋「カンフーキッチン」で夕食をとり、ゲストハウス「The Rose Guesthouse」に徒歩で帰路についていた途中で黒人男性に遭遇し、現金を要求された。適当に話をあしらいつつ足を進めていると、「ナイフを持っている。頼むから金をくれ」と口調を強め脅し始めたので、現金を全て渡した。その証明に財布の中身を見せると犯人は納得してその場を去った。
19	5月28日	警察官による 不正取締り	フォーウェイズ (サントン)	在留邦人	午前0時30分頃、モンテカジノからWilliam Nicol Drに曲がった先で警察官5名程による検問に逢い、Traffic Registration Certificateの提出を求められたが、車を運転する上で必要な円形ディスク及び免許証（+パスポート）を提示し、同Certificateの携行は必要ないと聞いているので、何か問題あるのであれば、切符を切れと再三申ししたところ、リリースされた。リリースまでに約10分程かかった。
20	6月3日	窃盗 (スキミング)	ダーバン (ゲートウェイ)	在留邦人	17時30分から18時30分の間に、現金入手のため、ゲートウェイショッピングモール内に設置されたFNB銀行のATMに行ったところ、男性が操作方法を教える振りで画面を操作してきたので、とっさに必要無いとはね除けて、男性は去ったが、その後、オンラインにてカード使用の履歴情報が届いた。
21	6月6日	窃盗 (スリ)	ダーバン	在留邦人	Beachwood country clubにてゴルフをしている間にゴルフバックに入れていたショルダーバックが盗まれていた。ショルダーバックにはパスポート、国際免許証、現金15000円、携帯電話が入っていた。
22	6月19日	強盗 (路上強盗)	ツァニーン(リンボボ州)	在留邦人 (青年海外協力隊)	ATMで2000ランドを下ろし、その後買い物をし路上を歩いていたところ、黒人男性3人組が向かいから近づいてきた。1人に話しかけられたが何を言っているのかわからず逃げようとしたところ、他の2人にズボンをつかまれ、ポケットに手を入れられた。ポケットに入っていた現金を奪われ、併せて購入したバケツも奪われた。
23	9月9日	窃盗 (車上ねらい)	ダーバン	在留邦人	海岸沿いのレストランでパスポート入りのカバンを車内（後部座席）に残したまま夕食に出て、食事を終えて戻ってみると、窓ガラスが破壊され、カバンが持ち去られていたもの。
24	9月11日	窃盗 (侵入窃盗)	カニヤマザネ (ムブマランガ州)	在留邦人 (JICAボランティア)	就寝中に窓ガラスが割られる音を確認。直ぐに照明を点灯させ確認したが以上はなかった。しかし、翌朝、家屋内を確認したところ、台所、寝室の窓ガラスが破壊されており、勝手口のバグラーバーも解放されていることに気付いた。
25	9月19日	窃盗 (スキミング)	モーニングサイド (サントン)	在留邦人	ショッピングモール内のスタンダードバンクATM機で現金を引き出したところ、キャッシュカードが返却されないまま取引を中断せざるを得なかった。当該スタンダードバンクを使用したのは、同所にいた現地（黒人）の案内によるものであり、画面はアフリカーンスによる指示であったため、同人等は執拗に操作方法を教示しようとした。後にSMSでR3,000に係る取引結果が通知された。
26	9月19日	強盗 (路上強盗)	パークステーション (ヨハネスブルグ)	旅行者	ヨハネスブルグ中央駅（パークステーション）構内を移動中、背後から4人組の男に襲われ、所持していた現金（100ドル）、パスポート、クレジットカードを強奪された。
27	10月19日	窃盗 (置引き)	ブルックリン (プレトリア)	出張者	イタリア料理店Col Cacchioにて昼食中に席の横に置いてあった鞆を盗まれた。中にはパスポート、I p a d、現金が入っていた。

28	10月21日	窃盗 (車上ねらい)	サントン	在留邦人	Night Shanghai（通称夜シャン）で会食のため駐車を試みたが、店の正面は満車であったため店からみて塀の後ろ側の同店駐車スペースに駐車した。店内に入りほどなくして、外にいた目撃者（黒人男性）が駐車中の車のガラスが割られたと店主に連絡したため、被害者が駆けつけ確認したところ、後部座席左ドアのガラスが割られ、シートが前に倒されていた。不幸中の幸いにも車内に荷物はなかったので盗難被害はなかった。なお、目撃者によれば、犯人の車は被害車両の後に続いて現場に到着した由。
29	10月24日	強盗 (路上強盗未遂)	フォーウェイズ (サントン)	在留邦人	モンテカジノからタクシーにて自宅に向かい、自宅コンプレックス前で下車し、ゲートをくぐり徒歩にて敷地内を5m程歩いたところ、真後ろから銃声が聞こえた。後ろを振り返ると車から出た2人組の男がコンプレックスのセキュリティオフィスに銃を発砲しているのを確認したため、走って自宅まで戻った。人的物的被害はなかったものの、後ほど確認したところ、同コンプレックスの他の住人を狙った追尾強盗で、被疑者は10数発発砲した由であった。
30	11月1日	窃盗 (車上ねらい)	FNBスタジアム隣 (ソウエト)	在留邦人 (JICAスタッフ)	マラソンに参加するため同所へ赴き、全ての所持品をトランクに入れ、ロックをかけたのを確認してその場を離れたが、戻てくると、トランクは開けられ、所持品が盗まれていた。
31	11月2日	強盗 (路上強盗)	パークステーション (ヨハネスブルグ)	旅行者	GAU TRAINIに乗るため歩いていたところ、複数の黒人男性に首を絞められ気絶し、気づいたら警察署にいた。パスポート、現金、クレジットカード、キャッシュカード等盗まれた。
32	11月10日	窃盗 (侵入盗)	ブライヤンストーン (サントン)	在留邦人	深夜、就寝中、被疑者は窓に設置された鉄格子をこじ開けて、被害者宅に侵入し、パソコンや財布が入った鞆を盗んだ。財布については、中に入っていたカード等は庭に捨てられて、現金のみ盗まれた。被害者宅は独立家屋で4辺の外周塀の内、3辺はエレクトリックフェンスが設置されているが、もう1辺については隣家と接しており障害物は何もなく、コンクリートに生け垣がくっついたようなもので、一部隙間があり、そこから侵入されたと推測される。隣家に侵入した経路は不明。また、警備会社に繋がるアラームシステムも設置されていたが、その日はたまたまスイッチを入れていなかったため、作動しなかった。
33	12月10日	窃盗 (車上ねらい)	喜望峰 (ケープタウン)	旅行者	喜望峰を観光中、5分ほど車から降りて写真を撮っていたところ、車中に置いていたパスポート、クレジットカード、現金及び携帯電話等を入れたバッグを盗まれた。
34	12月12日	窃盗 (車上ねらい)	チャップマンズピーク (ケープタウン)	在留邦人	チャップマンズピークの休憩地点において当該人がトイレに行く際、ガイドにバックを預けたが、ガイドもその場から離れるため車の中に同バッグを置いたところ、その後、ドライバーが車の鍵をかけずに車を離れたため、その間にバッグが盗まれた。
35	12月26日	警察官による 不正取締り	O.R. Tambo 国際空港 Prebooked Parking Exitを 出て右折後、20m程進んだ カーブの辺り	在留邦人	3人のうち1人の警察官に車をわきに寄せるよう指示され、窓を数センチ開けて話を聞こうとしたところ、全開にするか、外に出るかするよう指示された（結局、窓を数センチ更に開けた）。その後、運転免許証やパスポートの提示を求められ、従い、特段問題はなかったが、Traffic Number Certificateの提示を求められた際、コピーしか持っておらず、それを見せたところ、3000ランドの罰金をその場で求められた。その後、園部領事に電話をかけて、同警察官と話をしたところ、クリスマスだから見逃してやると言ってリリースされた。

※ 当館に対し報告のなかった被害も相当数あると史料されます。